

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/12号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

CPIとFOMC待ちの小動き

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



相変わらずの一進一退の動きが続いています。1940-1970ドルの30ドルレンジの中での動きでした。今週のCPIとFOMC待ちという状況だと言えます。現在FedWatchでの金利見通しでは金利据え置きが70%、25bp上げが30%となっており、FOMC直前のCPI（13日火曜日）で大きなサプライズが無い限り、おそらく今月の政策金利は据え置きとなりそうです。CPIが市場予想の4.2%を下回ることがあれば、この金利据え置きは、ゴールドにとっては大きなプラス材料となるでしょう。ゴールドは現在のレンジをうわ抜けて2000ドルを目指す動きとなる可能性が高いと思います。逆にCPIが予想を上回って高止まりであった場合は、ゴールドの売り材料となる可能性が高く、その場合は現在のボトムである1940ドルを割り込み1900ドルトライとなるでしょう。そういう意味では今週のCPIそしてそれに続くFOMCはゴールドの方向を、少なくとも短期的には決めるものとなる可能性があるでしょう。6月の金利据え置きをHawkish skipとする見方も出てきており、forward guidanceでおそらく次の7月にはふたたび利上げするというものであり、金利据え置きの見方が強い現在でも自信を持ってゴールドは買えないという現在のマーケットセンチメントの背景になっています。FedWatchでは7月の金利据え置き確率は30%、25bpの金利上げは53%、50bpの利上げは17%と、金利上げ予想が強くなっているのです。円建てゴールドもこのドル建てゴールドの動きとドル円の動きの結果8800円を中心とし、8740-8840円という100円のレンジでの取引に終始しています。8800円という絶対値になったことで、100円の動きは昔ほどのインパクトはなくなったかもしれませんが、しかし、新たな歴史的な高値更新まであと200円、そんなに遠くないということでもあります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「Asia Pacific PM Conference, Singapore」

6/4から7日シンガポールで催された上記の会議にパネリストとして呼ばれて出席してきました。昨年はまだパンデミックが完全に終わっておらず、日本からの参加者は私一人でしたが、今年は会議全体の参加者が470人、日本からもざっと数えても30人近くの参加者がいました。貴金属業界ではもはや欠かせないイベントになったと思われま。シンガポールの地理的条件もあり、日本人にとってはあまり接点のない東南アジアのゴールドマーケット（マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、ラオス、フィリピンなど）に触れるほかにはない機会でした。

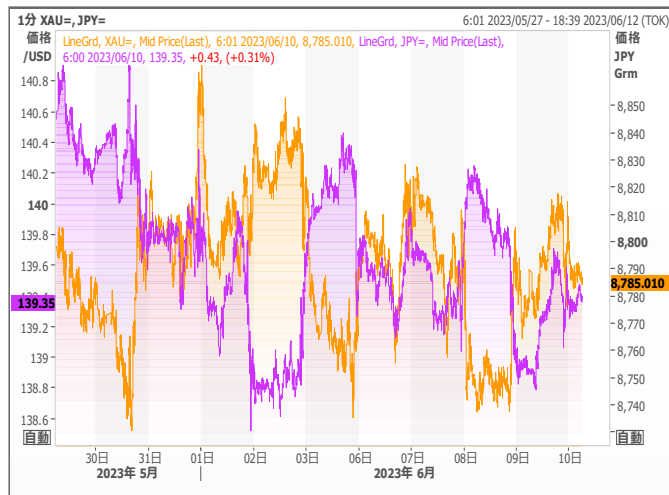
私は最終の「Precious Metals Price Outlook」というセッションに参加。今後の価格の行方をほかの有名アナリストたちと話をしました。ゴールドに関しては、4人のうち私を含む3人が強気。この日Gold Focus 2023を発表したMetals FocusのNikosが弱気派でした。強気派の我々は年末のレベルを2100から2300ドル。Metals Focusの予想は年間平均として1890ドル。いずれにしても、ここから大きく下げるといふ予想はないようでした。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

